

岡山県
くみりん

No.50
2014.9



一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会

緑のリサイクル

産業廃棄物から一般廃棄物まで木くず、剪定枝、草の処理なら当社にお任せください。



営業品目 産業廃棄物・一般廃棄物中間処理業
木材チップ生産事業 緑化資材事業
不動産事業 保険代理業



タマタイ産業株式会社

本社 〒700-0935 岡山市北区神田町2-1-25
TEL(086)224-3291FAX(086)223-6354
URL <http://www.tamatai.com>
E-mail tamatai@po4.oninet.ne.jp



金川工場 〒709-3234 岡山市北区御津下田450
TEL(086)724-0115FAX(086)724-2694
E-mail tamakana@citrus.ocn.ne.jp

太陽光発電 宮崎県えびの市大字原田字中野1258-3 外5筆
建部工場 〒709-3121 岡山市北区建部町大田1425
TEL(086)722-3865FAX(086)722-3459
E-mail tamatake@po5.oninet.ne.jp

グループ企業



ライフオス株式会社

本社〒700-0935 岡山市北区神田町2-1-25
TEL(086)224-3217FAX(086)224-3310

木材事業

上月工業 〒679-5503 兵庫県佐用郡佐用町本郷201-36
TEL(0790)87-0208FAX(0790)87-0225
松永工場 〒729-0105 広島県福山市南松永町4丁目7-50
TEL(084)933-5592FAX(084)933-5593

岡山チップセンター 〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6-1
TEL(086)264-2158FAX(086)264-2170

ガス事業

玉野営業所 〒706-0141 玉野市槌ヶ原1289
TEL(0863)71-0133FAX(0863)71-0134
東岡山工場 〒703-8214 岡山市東区鉄145
TEL(086)279-0149FAX(086)279-5971



住宅展示場

プレステージ城東 センターハウス
〒703-8222 岡山県岡山市中区下126-1
TEL(086)279-8844FAX(086)279-8845

◆協会だより◆

- (一社) 岡山県産業廃棄物協会「第3回通常総会」が開催される 2
平成26年度会長表彰を受けられた皆様 4
新理事の自己紹介 5
一般社団法人岡山県産業廃棄物協会役員一覧 6
会員の状況・新入会員の紹介コーナー 7

◆特集◆

- 「くrierん岡山第50号」発刊に寄せて 8

◆行政ニュース◆

- 岡山県の産業廃棄物の排出状況等（平成23年度実績）が取りまとまりました！ 10
電子マニフェストの導入は時代の流れです！ 11
PCB廃棄物の適正処理に御協力を！ 12
アスベスト規制が強化されました！ 14
平成26年度産業廃棄物関係行政担当窓口 16

〈世界見聞録33〉西表島に棲む希少種・天然記念物 倉敷芸術科学大学 河邊誠一郎 17

◆支部ニュース◆

- 〈岡山東支部〉第8回 地域環境クリーン化事業レポート 21
〈岡山中央支部〉第15回 環境クリーン作戦 22
〈倉敷支部〉倉敷美観地区七夕飾り 23
〈倉敷南支部〉鷲羽山クリーン作戦 24
〈津山支部〉第25回 支部総会開催 25

◆青年部会のページ◆

- 第3回青年部会通常総会 26
第11回通常総会開催中国ブロック青年部協議会 27

◆趣味のページ◆

- 趣味の会 第11回ボウリング大会 28

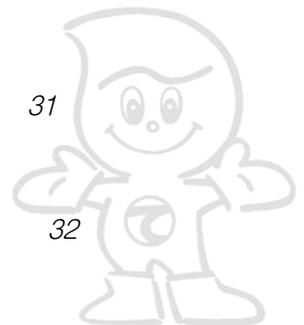
◆全産連ニュース◆

- てき丸君News 第4号 29
(公社) 全国産業廃棄物連合会中国地域協議会の動き 31

◆事務局より◆

- 平成26年度の行事予定（講習研修行事、普及啓発行事） 32

- 表紙カラーガイド/編集後記 33



(一社) 岡山県産業廃棄物協会 「第3回通常総会」が開催される

5月22日、岡山プラザホテルにおいて、会員315名（委任状210名）が出席し、岡山西支部の泉正昭理事の司会により第3回通常総会が盛大に開催されました。

●会長挨拶/社会貢献と地域貢献。資質向上と信頼確保。

岡本靖磨呂会長が、ご臨席いただいた来賓に謝辞を述べた後、現在の業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況にある中で、産業廃棄物の適正処理の確保、リサイクルの推進、災害廃棄物や不法投棄への支援・協力など、社会貢献及び地域貢献に取り組むとともに、自らの資質の向上と信頼の確保に努め、産業廃棄物業界全体の発展につなげたいと決意を述べ、今後の協会運営への理解と協力をお願いしました。



会 長

●会長表彰/13名が受賞。

協会の表彰規定により顕著な功績があった功労者3名、優良事業所6社、優良従事者4名が表彰され、各部門の代表3名が壇上で岡本会長から表彰状と記念品を受けとり、受賞者を代表し有限会社片岡久工務店の片岡重治様が謝辞を述べられました。

●来賓祝辞/暖かい激励のお言葉を頂戴する。



来 賓

岡山県環境文化部長の森廣伸之様（循環型社会推進課総括主幹の河辺尚佳様が代理出席）、岡山県議会環境文化保健福祉委員会副委員長の木口京子様、岡山県警察本部生活安全部生活環境課長の小倉誠様、岡山市環境局長の甲斐充様（産業廃棄物対策課長の根岸隆志様が代理出席）、倉敷市環境リサイクル局長の古谷太一様より、順次ご祝辞を頂きました。

●議事/全議案、原案通り承認可決。新たな理事3名が選任される。

岡山東支部の松本俊成常任理事が議長となり、第1号議案「平成25年度事業報告」、第2号議案「平成25年度収支決算報告」、第3号議案「平成26年度事業計画案」、第4号議案「平成26年度収支予算案」、第5号議案「理事の補充選任」について、いずれも原案通り承認可決されました。そして、新たに理事となった東備支部のコーワン株式会社の荻野政功様、倉敷南支部の内田工業株式会社の大星弘道様、

事務局の岩本充博様の3名から就任の挨拶がありました。また、支部に属さない会員の取扱、地域環境クリーン作戦実施場所の選定に関する意見があり、理事会において審議することとなりました。

●報告会/青年部会をアピール。新入会員を募る。

青年部会の藏本悟会長が「平成25年度青年部会の活動について」と題し、DVDを使用しながら活動状況を報告しました。



報告会

●講演会/最近の行政の動向を知る。

岡山県環境文化部長循環型社会推進課総括主幹の河辺尚佳氏が「最近の産業廃棄物行政の概要について」と題し、パワーポイントを使用しながら、県行政の概要や廃棄物処理法の動向について講演を頂きました。



講演会

●懇親会/多数の来賓のご臨席を賜る。

岡山県環境文化部長をはじめ政界からも多数お越しいただき盛大に開催することができました。冒頭、岡本会長が挨拶し、ご臨席頂いたご来賓に謝意を表した後、来賓の岡山県環境文化部長の森廣伸之様、岡山県議会議員で協会顧問である千田博通様よりご挨拶を頂き、大塚副会長の発声により乾杯しました。続いて、ご臨席頂いた来賓皆様からご挨拶を頂戴し、また祝電を披露するなど有意義なひと時を過ごし、加納副会長の発声で万歳三唱し中締めとなりました。

(ご臨席いただいた来賓の方々・敬称略)

岡山県 森廣伸之環境文化部長、岡村忠彦循環型社会推進課長、河辺尚佳循環型社会推進課総括主幹
岡山県議会議員 千田博通、岡崎 豊、神宝謙一、蜂谷弘美、小林健伸、太田正孝、小林孝一郎
衆議院議員 山下貴司ご令室の山下美和子、逢沢一郎秘書の足立輝、加藤勝信秘書の杉原洋平
参議院議員 石井正弘秘書の田淵善一
岡山市議会議員 松島重綱、佐々木龍

(頂戴した祝電・敬称略)

衆議院議員 逢沢一郎、加藤勝信、平沼赳夫、阿部俊子、山下貴司
参議院議員 石井正弘
岡山県知事 伊原木隆太
岡山県議会議員 小田春人、加藤浩久、太田正孝
岡山市長 大森雅夫
倉敷市長 伊東香織
公益社団法人全国産業廃棄物連合会会長 石井邦夫



懇親会



挨拶される森廣伸之岡山県環境文化部長



挨拶される千田博通岡山県議・顧問

平成26年度会長表彰を受けられた皆様

◆一般社団法人岡山県産業廃棄物協会 会長表彰

表彰区分	支 部	受賞者	備 考
功 勞 者 3名	岡 山 東	内海産業(株) 代表取締役 松本 俊成	協会役員
	岡 山 西	(有)片岡久工務店 代表取締役 片岡 重治	協会役員
	岡山中央	迫川清掃(有) 代表取締役 神戸 正義	支部役員
優良事業所 6社	岡 山 東	(有)エコ・クリエイト	収集運搬
	岡 山 西	(有)井上設備	収集運搬
	岡山中央	(株)相和建設	収集運搬
	東 備	日生運輸(株)	収集運搬
	備 北	高下興業(株)	収集運搬
	津 山	(株)オガワエコノス岡山工場	収集運搬 中間処理
優良事業者 4名	岡 山 東	牛窓港湾運輸(株) 田中 大一	
	岡山中央	(株)製紙原料佐藤商店 久山 悠一	
	倉 敷	(有)第一砂利 森永 彰	
	津 山	大成ロテック(株)津山合材工場 住吉 和彦	

表彰式:平成26年5月22日通常総会 (岡山市中区 岡山プラザホテル)



功勞者



優良事業所



優良事業者

◆公益社団法人全国産業廃棄物連合会 会長表彰

表彰区分	支 部	受賞者	備 考
功 勞 者	津 山	エコシステム山陽(株) 顧問 横田 一夫	前副会長
地方功勞者	備 北	(株)平松運輸 代表取締役 平松 敬史	常任理事
地方優良事業所	岡山中央	小野建設(株)	理 事

表彰式:平成26年6月13日定時総会 (東京都港区 明治記念館)



(公社) 全産廃連会長表彰

新 理事の自己紹介

東備支部 おぎの まさのり
萩野 政功 様

このたび当協会の理事に選任されましたコーワン株式会社の萩野政功と申します。

当協会は、産業廃棄物の適正処理の確立、生活環境の保全や循環型社会形成のための大きな使命を担っていると思っており、社会に貢献する諸事業を展開していくことが、協会、会員の皆様の今後の発展につながっていくと考えております。微力ではありますが、会長をはじめ、先輩役員の皆様のご指導、ご協力を、仰ぎまして、精一杯頑張っていく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

(弊社の紹介)

昭和23年2月、岡山県東備地区、片上湾の港湾荷役業として創業以来、「ありがとうといわれる心で……」を経営理念に掲げ、地域の発展と共に歩んで参りました。高速道路網が整備された東備地区は、広域へのアクセスが飛躍的に高まり、物流拠点としての機能性・優位性が注目されております。弊社は、こうした地域特性を十分に活かしながら、多様化・高度化する物流ニーズを的確に把握し、蓄積された信頼とノウハウを背景に、保管・荷役・各種流通加工・運輸・情報サービスを一体化したキーカンパニーとして総合物流を展開しております。

(趣味)

ゴルフ (コースの回数が少ないのか、いいスコアが出ません)

釣り (メバル釣りに凝ってました)

家庭菜園 (最近、始めました)

倉敷南支部 おおぼし ひろみち
大星 弘道 様

この度、岡山県産業廃棄物協会の理事に拝命いただきました内田工業株式会社の大星弘道です。

内田工業株式会社は倉敷南支部に所属しており、昭和46年の創業より、水島コンビナートの企業を中心に廃油、廃液、汚泥等を扱う中間処理業者です。私は、営業として入社し約20年になります。現在は、風通しの良い会社作りを目指し、日々、勉強中であります。

廃棄物業界も新しい時代を迎えようとしています。その中で、今回理事と言う役を仰せつかり、微力ではありますが岡山県産業廃棄物協会員、皆様の役に立てる様努力してまいりますのでよろしくお願い致します。

内田工業株式会社 専務取締役 大星弘道

事務局 いわもと あつひろ
岩本 充博 様

このたび第3回通常総会で理事に選任されました事務局長の岩本です。

私は、今年3月まで県職員として環境行政に携わってききましたが、このたび縁あって産業廃棄物協会でお世話になることとなりました。何かと不行き届きの点が多々あると思いますが、事務局として、私なりに一生懸命務めさせていただく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

<私のモットー>

Listen 相手の言葉に耳を傾け

Open 自分の心を開いて素直になり

Voice 自分の思いは言葉にして伝え

Enjoy 楽しく人とかかわっていきたい。

※英語の頭文字をとると「LOVE」になります。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会役員一覧

7月15日の第12回理事会で新たに3名の役員が補充選定されました。

役 職 名	氏 名	会 社 名	備 考
会 長	岡本 靖磨呂	倉敷企業合資会社	
副 会 長	大塚 雅司	タマタイ産業株式会社	岡山中央支部長
副 会 長	加納 睦也	エコシステム山陽株式会社	津山支部長
新 専務理事	岩本 充博	岡山県産業廃棄物協会	
常任理事	松本 俊成	内海産業株式会社	岡山東支部長
常任理事	井上 實	有限会社井上設備	岡山西支部長
新 常任理事	荻野 政功	コーワン株式会社	東備支部長
常任理事	室山 宣英	山陽美業株式会社	倉敷支部長
新 常任理事	高谷 耕治	高谷建設株式会社	倉敷南支部長
常任理事	藤原 浩司	有限会社藤充建設工業	井笠支部長
常任理事	平松 敬史	株式会社平松運輸	備北支部長
理 事	石原 孝	(株)石原工務店	
理 事	原野 健一	牛窓港湾運輸(株)	
理 事	田中 敏郎	日本エクソン工業(株)西大寺工場	
理 事	泉 正昭	泉建設(株)	
理 事	藤井 武士	(株)岡清組	
理 事	片岡 重治	(有)片岡久工務店	
理 事	小野 勝己	小野建設(株)	
理 事	田口 睦青	(株)デベロッパ岡山	
理 事	中野 治	中野開発(株)	
理 事	藤巻 壮道	日生運輸(株)	
理 事	岸田 修一	水島エコワークス(株)	
理 事	大星 弘道	内田工業(株)	
理 事	三好 員弘	(株)アースクリエイト	
理 事	岩元 博	山陽環境開発(株)	
理 事	田口 芳美	(株)新岡山工業	
理 事	近堂 申洋	坂田砕石工業(株)	
監 事	妹尾 智行		
監 事	加藤 聡		

会員の状況

平成26年9月30日現在

区分	岡山東	岡山西	岡山中央	東備	倉敷	倉敷南	井笠	備北	津山	合計	賛助会員
収集運搬業	38	37	44	21	31	27	25	18	30	271	8
中間処理業		1	2	2	5	2	2	2	5	21	
最終処分業							1			1	
収集運搬業 中間処理業	15	19	12	4	15	6	2	6	22	101	
収集運搬業 最終処分業				1						1	
収集運搬業 中間処理業 最終処分業		2	1		3		1		1	8	
合計	53	59	59	28	54	35	31	26	58	403	

新入会員の紹介コーナー

(平成26年1月～9月入会者)

有限会社新生産業

取締役 猪原美和

〒702-8048 岡山市南区福吉町24-6
電話 086-265-0616

【岡山西支部】収集運搬業

株式会社たけうち

代表取締役 木山豊

〒719-1142 総社市秦328
電話 0866-94-3322

【倉敷支部】収集運搬業

エヌ・ケイ・ジー株式会社

代表取締役 中塚信二

〒712-8014 倉敷市連島中央1丁目5-2
電話 086-446-2323

【倉敷南支部】収集運搬業

丸福運輸株式会社

代表取締役 谷口武徳

〒714-2101 井原市芳井町梶江637
電話 0866-72-0700

【井笠支部】収集運搬業

杉岡建設株式会社

代表取締役 杉岡裕男

〒718-0011 新見市新見368-4
電話 0867-72-0615

【備北支部】中間処理業

「クリーン岡山第50号」発刊に寄せて

室山 宣英

このたび、一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会報誌「クリーン岡山」が、創刊から50号を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

私は、このたび「岡山県産業廃棄物処理業協同組合」の理事長を拝命いたしました。この先の組合活動に対しましても、旧来に増してのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本協会は、岡山県における産業廃棄物の適正処理、再生利用等についての調査研究、普及、研修、指導等を行うことにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源の効率的活用を図り、もって県民の福祉の向上に寄与する目的で設立されました。その中で、会報誌「クリーン岡山」は総務広報委員会が編集を担当し、協会活動の現況、関係行政庁の通達、産業廃棄物処理に関する情報等を提供するために、平成3（1991）年10月号の創刊号以来、年2回の発刊を継続してまいりました。

このたびの記念すべき創刊50号の発刊に際し、「クリーン岡山」を創刊号から読み返してみました。平成3年の「クリーン岡山」創刊号では、藏本協会長、岡山県環境保健部廃棄物対策室長、全国産業廃棄物連合会の太田会長の挨拶及び会員名簿、「全国47都道府県に産業廃棄物協会誕生す」の記事が見られます。

第2号では、平成3年11月に記念すべき第1回目の県外視察研修会（寿和工業（株）：岐阜県）が行われ、行政、正会員、事務局あわせ27名が参加者したとの記事があります。

通算第5号となる社団法人化後の記念すべき創刊号の1ページ目は、「第2回岡山県産業廃棄物協会通常総会、社団法人岡山県産業廃棄物協会通常総会盛大に開催」という記事でした。平成3年2月に任意団体として設立された岡山県産業廃棄物協会は、平成5年4月27日、新たに「社団法人岡山県産業廃棄物協会」として、藏本忠男会長（現協会顧問）、室山好忠副会長、岡本靖麻呂副会長（現協会会長）、松田歳壽副会長の執行部体制にて、会員240名、賛助会員5名でスタートしました。

また、第6号では、「環境保健所管内に支部発足」として、協会活動の活性化と充実のために県内に9つの支部（岡山東、岡山西、岡山中央、東備、倉敷、倉敷南、井笠、備北、津山）が設置され、協会のより一層の飛躍に向けた体制が構築されました。それ以降の各支部の活躍は皆様のご承知のとおりで、研修会の開催やクリーン作戦等、支部役員と会員の皆さまのご協力により、活発な活動を継続しながら現在に至っています。

その後、平成12年6月に青年部会設立総会が行われました（第22号）。その後全国の組織に参加し、小学生の環境学習などの活発な活動を続けています。第28号には、平成15年6月の協会設立10周年記念事業として「環境と廃棄物フォーラム」が盛大に開催されたとの特集記事が見られ、平成24年4月には公益法人制度改革に伴い、第46号では「一般社団法人岡山県産業廃棄物協会」として新たなスタートを踏み出し、翌平成25年5月に協会設立20周年記念式典を多くの来賓を迎えて開催された（第48号）ことは、協会設立時から携わるものとして大変感慨深いものがありました。

こうして読み返してみますと、創刊号以降、行政との連携による適正処理・リサイクルの推進、法

改正等の情報提供や広報活動、許可申請に関する講習会の運営等の教育・研修活動等が挙げられ、今後も継続した取り組みが求められていると再認識することができました。

皆さまもご存知かと思いますが、当協会の組織は、総務広報及び労働安全衛生の2つの委員会、専門部会として収集運搬、中間処理、最終処分の3つの部会が組織され活動を行っています。

その中で前述のとおり、「クリーン岡山」は総務広報委員会が編集を担当しています。私自身、平成9年から今年まで「総務広報委員会」へ所属し、数々の「クリーン岡山」の編集に関わってまいりました。このたびの記念すべき第50号の発刊までこぎつけたことは、ひとえに執筆依頼に気持ちよく応えていただいた行政のご担当者及び会員の皆さまをはじめ、事務局スタッフのサポートのおかげであると言えます。関係者の皆さまへ、この場を借りまして、あらためてお礼を申し上げます。

終わりに、「クリーン岡山」をご覧の皆様におかれましては、これまで同様当協会及び組合の運営に際しまして、一層のご支援とご協力を賜りますよう切にお願いを申し上げ、記念号発刊のご挨拶とさせていただきます。



岡山県の産業廃棄物の排出状況等(平成24年度実績)が 取りまとまりました!

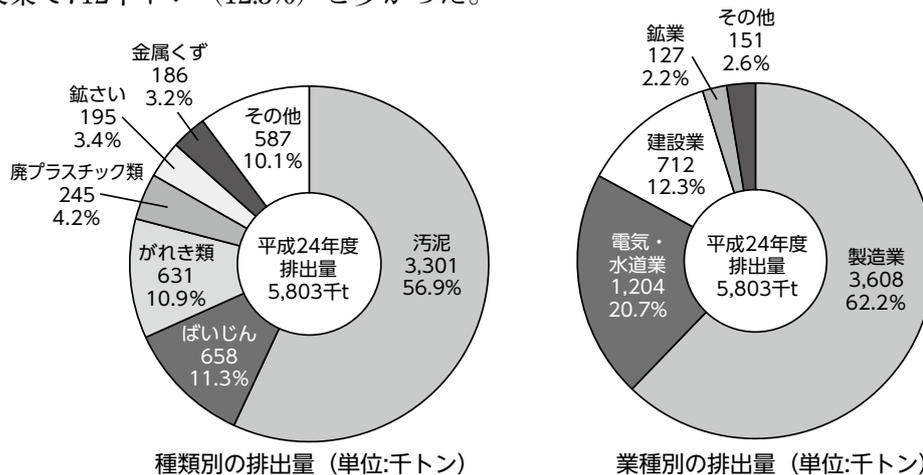
岡山県では、平成24年2月に第3次岡山県廃棄物処理計画（平成23~27年度）を策定し、産業廃棄物の排出抑制及び循環的利用（再使用、再生利用、熱回収）の推進に取り組んでいますが、このたび、平成24年度に県内で発生した産業廃棄物の排出、処理状況等の実態を調査し、第3次岡山県廃棄物処理計画の数値目標との比較を行いました。

1 排出状況

平成24年度の排出量は5,803千トンで前年度（5,853千トン）に比べて約0.9%の減少となった。

種類別の排出量では、汚泥が3,301千トン（56.9%（排出量全体に対する割合。以下同じ。））と最も多く、次にばいじんが658千トンと多かった。

業種別では、製造業が3,608千トンと62.2%を占め、次に電気・水道業が1,204千トン（20.7%）、その次が建設業で712千トン（12.3%）と多かった。



2 処理状況及び第3次岡山県廃棄物処理計画の目標との比較

平成24年度の排出量は3次計画の目標である6,000千トン以下であったが、再生利用率は38.7%で目標値の39.1%を下回り、また最終処分量は317千トンで目標値の305千トンを上回った。

(単位：千トン/年)

	平成21年度 実績 (基準年)	平成23年度 実績 (参考)	平成24年度 実績	平成27年度 目標 (3次計画)
排出量	5,738	5,853	5,803	6,000以下
再生利用量	2,107<36.7%>	2,146<36.7%>	2,248<38.7%>	<39.1%以上>
減量化量	3,291<57.4%>	3,339<57.1%>	3,232<55.7%>	—
最終処分量	335< 5.8%>	362< 6.2%>	317< 5.5%>	305以下
保管量	5< 0.1%>	5< 0.1%>	6< 0.1%>	—

注:< >内の数値は、排出量に対する割合

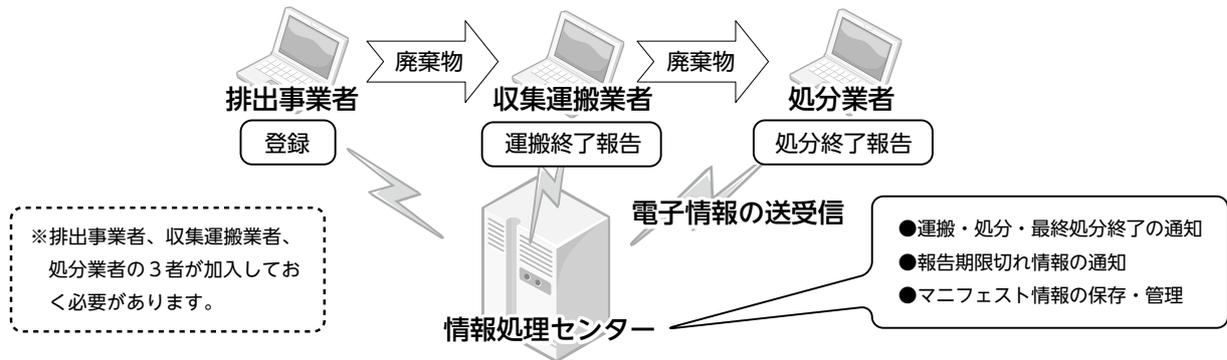
電子 manifests の導入は時代の流れです！

1 電子 manifests 制度について

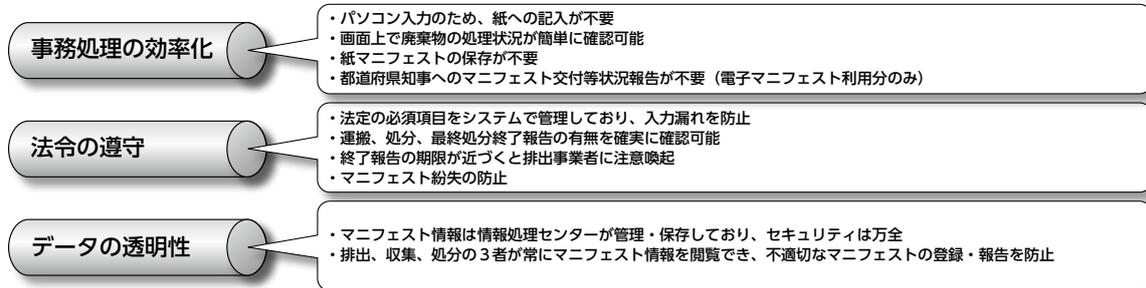
(1) 過去の経緯

- ・平成9年の廃棄物処理法の改正により、電子 manifests 制度が創設
- ・平成25年5月に閣議決定された第3次循環型社会形成推進基本計画において、電子 manifests 普及率を平成28年度に50%に拡大することを目標として設定
- ・岡山県においても、平成25年3月に策定したエコビジョン2020において、電子 manifests 普及率を平成28年度までに40%に拡大することを目標として設定

(2) 電子 manifests の仕組み



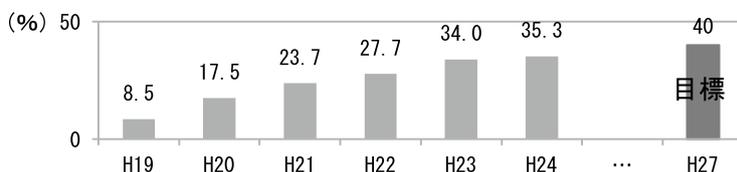
(3) 電子 manifests 導入のメリット



2 電子 manifests の今後の展望

- ・県では、排出事業者の加入・利用促進に向け、多量排出事業者などに導入を呼びかける他、公共工事において電子 manifests 導入を義務化する等の検討を行っています。
- ・県内の市町村にも電子 manifests 導入を呼びかけ、全県的に電子 manifests 導入を推進していくこととしています。
- 国、県をあげて電子 manifests の普及促進に取り組んでいる！ =時代の流れ！
- 産業廃棄物処理業者の方は早期に電子 manifests を導入しておくことで、電子 manifests を利用する顧客確保に繋がる！

3 岡山県における電子 manifests 普及率



PCB廃棄物の適正処理に御協力を!

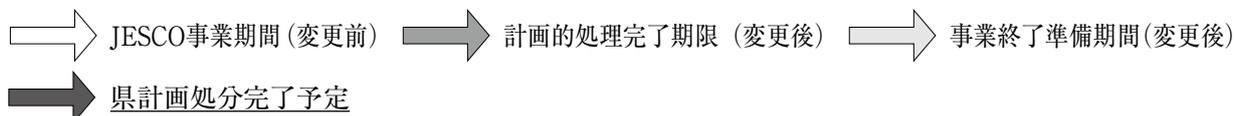
1 PCB廃棄物処理体制について

(1) 高濃度PCB廃棄物

- 岡山県内の高濃度PCB廃棄物は、国が定める「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画（以下「基本計画」という。）」に従い、日本環境安全事業（株）（通称:JESCO）北九州事業所で処理することとされています。
- JESCO北九州事業所では、各県ごとに重点搬入期間が設けられており、**岡山県は平成26年10月～12月が現段階では最後の重点搬入期間となります。また、JESCOで処理する場合、事前にPCB廃棄物の情報を登録する必要があります。**
- 今年6月に基本計画が改訂され、JESCO北九州事業所の事業期間が最大で平成36年3月31日まで延長されましたが、岡山県では、**平成27年3月までにJESCOでの処理を完了する計画**としています。

図：基本計画（北九州事業所）と県計画における高濃度PCB廃棄物の処理期間

計画種類	処理対象		年度											
			26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
基本計画	高圧トランス	変更前	→											
		変更後	→											
	コンデンサ	変更前	→											
		変更後	→											
安定器	変更前	→												
	変更後	→												
汚染物	変更前	→												
	変更後	→												
県計画	高濃度PCB廃棄物		→											



計画的処理完了期限：保管事業者がJESCOに対し処分委託を行う期限

事業終了準備期間：把握できていないPCB廃棄物の処理、処理困難物の処理、事業終了の準備のための期間

(2) 低濃度PCB廃棄物

- 環境大臣が認定した無害化処理施設又は都道府県知事が許可した施設で処理することとされており、現在、全国で19施設ありますが、今後も施設数は増加する見込みです。
- 処理施設により、処理できるPCB廃棄物の種類（油、筐体、その他汚染物等）が異なりますので、処理を委託される際は、施設を設置する事業者にご確認ください。
- 低濃度PCB廃棄物は、**PCB廃棄物特別措置法で定める期限（平成39年3月31日）までに保管事業者が責任を持って処理しなければなりません。**

<県内及び周辺のPCB処理施設設置事業者（設置場所）>

- ・ エコシステム山陽株式会社（岡山県久米郡美咲町）
- ・ 水島エコワークス株式会社（岡山県倉敷市）
- ・ 神戸環境クリエート株式会社（兵庫県神戸市）
- ・ 三光株式会社（鳥取県境港市）

2 PCB廃棄物の処理費用負担軽減制度について

JESCOで高濃度PCB廃棄物を処理する場合、中小企業者等を対象とした処理費用負担軽減制度が利用できます。

今年4月には、交付対象者の拡大、一部の対象者について軽減率の拡充がなされました。
なお、現在のところ、低濃度PCBの処理費用等に対する軽減制度はありません。

表：PCB廃棄物の処理費用負担軽減制度の対象者及び負担軽減率

対象者	負担軽減率
中小企業者 ^{※1}	処理費用の70%
中小企業団体等 ^{※2}	
常時使用する従業員数が100人以下の法人	
上記のうち、清算中、特別清算中又は破産手続中の法人	処理費用の95%
PCB廃棄物を保管している個人	

※1 中小企業者

- ・下表の業種ごとに定められている資本金(A)又は従業員数(B)のどちらかの要件を満たし、かつ、大企業者(中小企業者以外の会社)からの出資等の合計が1/2以上を占めている会社(みなし大企業者)でないこと
- ・みなし大企業者による貴社の発行済株式の100%保有又は全額出資による完全支配関係がないこと
- ・大企業者との相互間の発行済株式の100%保有又は全額出資による完全支配関係がないこと
- ・下表において業種ごとに定められる従業員数(B)の要件を満たす個人事業主

主たる業種	A.資本金又は出資の総額	B.常時使用する従業員数
製造業	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
小売業	5,000万円以下	50人以下
ゴム製造業	3億円以下	900人以下
ソフトウェア業又は情報処理サービス業	3億円以下	300人以下
旅館業	5,000万円以下	200人以下
その他	3億円以下	300人以下

※2 中小企業団体等

- ・中小企業団体の組織に関する法律に規定する中小企業団体(事業協同組合、事業協同小組合、信用協同組合、企業組合、協業組合、商工組合及び商工組合連合会)
- ・特別の法律によって設立された組合又はその連合会であって、その直接又は間接の構成員の2/3以上が上表のいずれかに該当するものであるもの

3 PCB廃棄物の早期処理に向けて

- ・高濃度PCB廃棄物を保管している方、また、高濃度PCBが含まれている電気機器等を使用している方のうち、**JESCOへ機器等の登録していない方は、早急に登録していただきますようお願いいたします。**(JESCO北九州事業所連絡先：093-522-8588)
- ・低濃度PCB廃棄物は、PCB廃棄物特別措置法で定める期限(平成39年3月31日)までに処理する必要がありますので、低濃度PCB廃棄物の保管事業者の方、PCBの使用が疑われる機器を使用中的の方は、早期に処理が完了できるよう計画的な処理をお願いします。

アスベスト規制が強化されました！

～大気汚染防止法等の一部改正～

1 概要

石綿の飛散を防止する対策の強化を図り、人の健康に係る被害を防止するため、大気汚染防止法の一部を改正する法律（平成25年法律第58号）が平成25年6月21日に公布され、また、これに伴い大気汚染防止法施行令の一部を改正する政令（平成26年政令第82号）が平成26年5月14日に、大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令（平成26年環境省令第15号）が平成26年5月7日に公布され、それぞれ平成26年6月1日から施行されました。

2 改正内容

(1) 主な改正内容

- ① 特定粉じん排出等作業の実施の届出義務者の変更
- ② 解体等工事に係る調査及び説明等の義務化
- ③ 発注者の配慮
- ④ 報告徴収及び立入検査の対象拡大
- ⑤ 作業基準の強化

(2) 改正の詳細

① 特定粉じん排出等作業の実施の届出義務者の変更

特定粉じん排出等作業の実施の届出義務者が、「特定工事を施工しようとする者」から「特定工事の発注者」又は「特定工事を請負契約によらないで自ら施工する者（以下「自主施工者」という。）」に変更されました。

② 解体等工事に係る調査及び説明等の義務化

ア) 解体等工事に係る調査

解体等工事（建築物を解体し、改造し、又は補修する作業を伴う建設工事）の受注者及び自主施工者は、当該解体等工事が特定工事に該当するか否かについて調査を行わなければなりません。

イ) 解体等工事に係る説明

解体等工事の受注者は、ア) の調査結果を発注者に対して、解体等工事の開始の日まで（当該解体等工事が特定工事に該当し、かつ、特定粉じん排出等作業を当該特定工事の開始の日から14日以内に開始する場合は、当該特定粉じん排出等作業の開始の日の14日前まで）に書面を交付して説明しなければなりません。

ウ) 解体等工事に係る調査への協力

ア) の事前調査が適切に実施されるよう、発注者は、受注者が行う調査に要する費用を適正に負担すること等により、調査に協力しなければなりません。

エ) 解体等工事に係る掲示

受注者及び自主施工者は、ア) の調査結果を公衆に見やすいように掲示しなければなりません。

③発注者の配慮

発注者は、作業基準の遵守を妨げるおそれのある条件を付さないよう、施工方法、工期だけでなく、工事費用へも配慮すべきことが明記されました。

④報告徴収及び立入検査の対象拡大

都道府県知事等の報告徴収の対象が解体等工事の発注者、受注者及び自主施工者に、立入検査の対象が解体等工事にそれぞれ拡大されました。

⑤作業基準の強化

ア) 負圧管理の徹底

作業場に加え、前室も負圧に保つことになりました。

また、特定建築材料の除去作業の開始前に、作業場及び前室が負圧に保たれていることを確認し、異常が認められた場合は、集じん・排気装置の補修その他の必要な措置を講ずることになりました。

イ) 集じん・排気装置の稼働確認

【作業開始前】

特定建築材料の除去作業の開始前には、集じん・排気装置が正常に稼働していることを確認し、異常が認められた場合は、集じん・排気装置の補修その他の必要な措置を講ずることになりました。

【作業開始後】

同作業の開始後速やかに、集じん・排気装置の排気口において、粉じんを迅速に測定できる機器を用いることにより、集じん・排気装置が正常に稼働していることを確認し、異常が認められた場合は、直ちに特定建築材料の除去作業を中止し、集じん・排気装置の補修その他の必要な措置を講ずることになりました。

ウ) 記録等

集じん・排気装置が正常に稼働すること等の確認をした年月日、確認の方法、確認の結果、確認した者の氏名、確認の結果に基づいて補修等の措置を講じた場合は当該措置の内容を記録し、特定工事が終了するまでの間保存することになりました。

3 建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアルの改訂

2の改正に伴い、作業基準の遵守状況の確認方法など石綿の飛散防止措置について詳細に解説しているマニュアルも改訂がなされています。

マニュアルは、環境省のホームページからダウンロードできますので、御活用ください。

【マニュアル】 <http://www.env.go.jp/air/asbestos/index6.html>

4 その他

事前調査等の掲示例や、パンフレットを県のホームページに掲載しておりますので、御活用ください。

【掲示板の例】 <http://www1.pref.okayama.jp/page/detail-81582.html>

【パンフレット】 <http://www.pref.okayama.jp/page/307854.html>

平成26年度産業廃棄物関係行政担当窓口

所 属	担 当 者
岡山県環境文化部 循環型社会推進課 〒 700-8570 岡山市北区内山下 2-4-6 電話 086-226-7308	課 長 岡村 忠彦 参 事 河内 達彦 産業廃棄物班 ○河辺、藤本、野崎、佐々木、國府
岡山県備前県民局 地域政策部環境課 〒 700-8604 岡山市北区弓之町 6-1 電話 086-233-9805	課 長 二階堂 日出伸 廃棄物対策班 ○黒住、鶴谷、岡崎、中山、谷口、西尾、上原
岡山県備中県民局 地域政策部環境課 〒 710-8530 倉敷市羽島 1083 電話 086-434-7007	課 長 守安 秀徳 廃棄物対策班 ○藤岡、花田、村上、遠藤、片山、竹本、中桐、青葉
岡山県美作県民局 地域政策部環境課 〒 708-8506 津山市山下 53 電話 0868-23-1243	課 長 矢部 良正 廃棄物対策班 ○木村、橋本、田邊、門脇、池田、石井、深見
岡山市環境局 産業廃棄物対策課 〒 700-8554 岡山市北区大供 1-2-3 電話 086-803-1303,1304	課 長 根岸 隆志 課長補佐 塩見 康臣 課長補佐 (監理係長) 舟木 信行 規 制 係 ○後藤、黒田、藤原、木口 監 理 係 長谷井、菊山、木村、藤田
倉敷市環境リサイクル局 リサイクル推進部 産業廃棄物対策課 〒 710-8565 倉敷市西中新田 640 電話 086-426-3385	課 長 佐藤 慶一 課長主幹 木村 則博 課長主幹 石井 洋二 行武、石井、飛峪、齋藤、板野

注) 担当者で○印のある方は、班長・係長の方です。

西表島に棲む 希少種・天然記念物

倉敷芸術科学大学
河邊誠一郎

日本最高の天然記念物

学名に、*Nipponia nippon*と2つもニッポンが付いていた日本産トキが絶滅してしまった今、日本に生息する生き物の中では、西表島に棲むイリオモテヤマネコが最も重要な動物となっている。



学名：*Nipponia nippon*と二つもニッポンのつく“日本産トキ”は2003年に絶滅してしまった。
(インターネット画像資料)

これまで何とか出逢ってみたいと思いつつも、どうしても遭えなかった動物である。

なにしろ20世紀最大級の発見とも言われるヤマネコである。数も少ないうえ、用心深い性質、夜行性でもあるために、これまで人里離れた崎山海岸の砂浜に残されていた足跡、浦内川河畔の巨



“キン”亡きあと、日本で最も貴重な種となった、
幻のイリオモテヤマネコ
センサー付き自動カメラによる映像(インターネット資料画像)

石の上にマーキングのために残された、白く風化した糞を見ていただけで、その姿にお目にかかることはなかった。

ついに遭遇か?

2013年10月26日、仲間川林道を最奥まで進み、木の実や固有植物・昆虫、薬用植物などを探索し、その日この路を歩いた最後の一人となって下っていた。

夕暮れが迫る薄暗くなり始めた無人の道を、ゆっくりと下っていたその時、前方50メートル程先のゆるくカーブした道の端に、灰色でかなり大型の生き物がうずくまっているのに気付いた。風下だったためか?こちらののんびりゆっくりのペースが幸いしたのか?もうすべての人間達は帰ってしまったものと油断していたためか?相手は辺りを気にする風もなくしゃがんでいる。こちら最初も野良犬か野良猫かと思ってのんびり構えていた。しかし、どうも様子が違う! ひょっとしたら待望のイリオモテヤマネコかもしれない! だとすると絶好のチャンス!これを何とか写真に収めなくてはと焦った。

これまで、餌を括りつけて、その後ろに据え付けたセンサー付き自動シャッターのカメラではその姿が捉えられたことはある。しかし、このような自然の姿を、しかも間近で捉えられるチャンスはめったにあるものではない。そう思うと、カメラを取りだす手は震え、いつもの様に素早い動きができなかった。そのもたついていた数秒の間に、その動物はジャングルの中へ潜り込んでしまった。その後ろ姿から、西表に棲むもうひとつの大型獣：リュウキュウイノシシではないことは確認できた。

近くまで行って見て、そいつがうずくまっていたわけが分かった。そこには、新鮮な、大量の糞があった。

それは本格的な糞であり、これまでにジャングル



目の前に突然現れて、
痕跡を残していった
2013年10月26日 仲間川林道で

ルの奥でお目にかかっていた小さくて白く乾いた縄張りを示すためのマーキング糞とは明らかに違っていた。

そのため、すぐにはイリオモテヤマネコの物と確信を持てなかった。それでも、新鮮で臭いのする糞はしっかり写真に収めた（さすがに持ち帰りは諦めた）。早速宿に帰って、居合わせた客や、地元の面々を捕まえてこの写真を見せたが、誰に聞いても糞が大き過ぎるのでは？とか、犬かノラネコのものだろう、程度の疑いの答えしか返ってこない。糞でさえそれほど稀少なのだ。

そこで翌朝、島の自然保護センターを訪ねて、研究担当者に正否を聞いてみた。

その答えは、“立派な山猫の糞である”とのこと。マーキングではなく、夕刻、人の居なくなった見通しのきく林道わきで、安心して脱糞したもので、栄養状態も良い健康な山猫のものだとの返事をもらった。

日本の秘境・自然の宝庫と言われ、近い将来に世界自然遺産にも登録されるかと思われている西表島も、人間による開発行為が自然に大きな負荷を与えていて、様々な貴重な固有種が絶滅し始めてもいる。そのための調査や、規制、保護策も講じられてはいるが、まだまだ追いついていないのが現状である。

今回のキシノウエトカゲ（センベイにはなっていたが）の標本、道路際を歩いていたセマルハコガメ、糞だけの写真ではあったがイリオモテヤマネコ、それらの標本・目撃情報は今後の保護へのお役に立てたかもしれない。

巨大な生物の棲む島

西表島には、日本一とも言える巨大生物が数多く生息している。

手のひらサイズのシジミ、10cm以上もある巻貝やアフリカマイマイ、開翼4—50cmのオオコウモリ、オオクワガタ以上に大きいモリオオゴキブリはじめ、巨大なノコギリガザミ、オオウナギ、ハゼ、マンタ、キシノウエトカゲ、オオゴマダラ（蝶）、ヨナクニサン（蛾）、ヤスデ、ムカデ、オニグモ、そしてオオタニワタリ、ヘゴ、日本一のドングリの実など、枚挙に暇がないほどの特異で巨大な生物がいる。

これに加え、巨大なヤシガニも生息もしてる。



ヤシガニ（ヤドカリの一種）
かつては1m大のものもいた

一見グロテスクな姿形をしたこのヤドカリは、これまで民宿の常連客の間で知られていた。その肉質・味は伊勢エビに似て、その味噌は濃厚な旨味があり、南国旅の話題としては格好のものだった。

近年の沖縄ブームにのり、やってくるツアー客、ホテル観光客の間でも人気を呼び始めているが、自然の中では成長が遅いため、最近はその需要に供給が追いつかず高値を呼んでいる。ここ沖縄で

はヤシの実を食べるのではなく、主に海岸近くのアダンの実や流れ着いた様々な木の実・果実類などを食べているため、たまたま毒を含む木の実を餌にしたヤシガニを民宿客が食べて、中毒を起こした例が過去にはあったようで、格の高いホテルでは食材にはしてこなかった。しかし、近年はその雑食性を活かした人工飼育も始まっているとかいふ。

自然では数が少なくなってしまったとはいえ、まだまだ探し方によっては、野生のヤシガニは結構見つかる。数年前の竹富島の林の中、懐中電灯を便りに、そのかすかな足音を聞きわけて、巨大なヤシガニを一度に両手に2匹、さらに片足でもう1匹を押さえつけた経験もあった（そのうちの1匹は博物館用に、生きたまま持ち帰っている）。

熱帯地方では、ヤシの木に登って、その実をもぎ取って食べるとも言われ、その鋏は強力、指でも挟まれようものなら、容易にちぎれてしまうほどの要注意生物でもある。

出発前に、友人からそのヤシガニを是非食べてみたいと要望されていた。

ヤシガニの活動時期には少し遅い感もあったが、夜半に適切な生息ポイントを探せば、必ず見付ける自信はあった。

さっそく希少甲虫の探索を兼ねて漆黒のジャングルを車で巡った。ところが数日前に台風が通過していて、その後に寒気が流入したせいで空気は澄み渡り、降って来そうな星空の中、ヤシガニはすでに越冬態勢に入ってしまったらしく、どこに行っても見つけることが出来なかった。

巨大なハブの出現

その代り、夜の林道のあちこちで、あまり歓迎したくない生き物たちがいくつも現れた。

毒蛇・サキシマハブやヒメハブである。

これまで、昼のジャングルではめったにお目にかかった事はないのに、である。



大型ハブ（サキシマハブ：120センチ）を捕獲
ハブの三枚おろし（身、内臓、皮）

人里離れた場所で遭遇した3匹はそのまま見逃したが、人家のすぐそばで発見した巨大なサキシマハブ（120センチ近くもあった）だけは今後の住民への危険度を考えると、さすがに捕獲せざるを得なかった。サトウキビ畑へ潜り込もうとするハブを、飛びつかれないように、得意のネットさばきで掬いあげ、噛みつかれないように、枝で頭を押さえ捕獲した。その大きな三角頭は、見るからに大量の毒を持っていそうであった。

捕獲はしたものの、その後の旅程を考えると、そのまま持ち歩くことは難しい。そこで、皮だけを試料として残すことにし、得意の解体技術（イノシシ解体で培った）を駆使して、三枚下ろし？（皮と内臓と身・骨）にして、その皮だけを塩漬け保存とした。

残りの透き通ったピンク色の胴体は、美しく美味しそうで、そのまま捨ててしまうのはいかにも惜しい。

かつて勤めていたメルシャン酒類研究所で、マ

ムシ酒を作った際に経験しているマムシの蒲焼（結構コリコリしていて美味しい）をしようか・・・と宿の面々に提案したけれど、民宿のオヤジ始め、全員から却下されてしまい、貴重な体験の機会を逃してしまった。

教訓： 何事も、外見、既成概念、他人の考えに左右されてはならない！

人口爆発と少子化、気候異変、エネルギー危機、食糧危機の時代である。

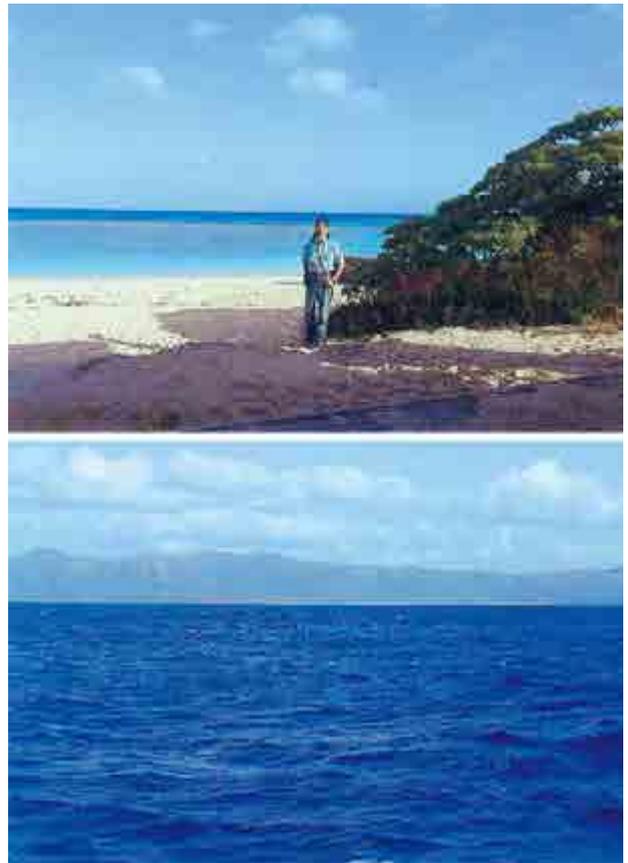
全て、自分で経験し、体験して、そして適切な判断をすることが大切。

食に関しても、好奇心・チャレンジ精神旺盛に、見て、触って、嗅いで、少し

味をみて、そして、的確に（食毒を）自分自身で判断して対応せねばならない。

やってみなくては、何事も解らないことばかり！

過剰人口がやってくる未来に、生き残りを賭けて・・・！！！！



まばゆいばかりの白いサンゴの浜、紺碧の海と空
貴重な自然が残る、生き物の宝庫 西表島



ナリヤラン
デイゴ

琉球の名花

ハイビスカス
ゴールデンシャワー

岡山東 支部 第8回 地域環境クリーン化事業レポート

水溜りには氷が張るほど冷え込んでいた、平成26年1月28日（火）午前9時より、8回目となる岡山東支部地域環境クリーン化事業を開催しました。

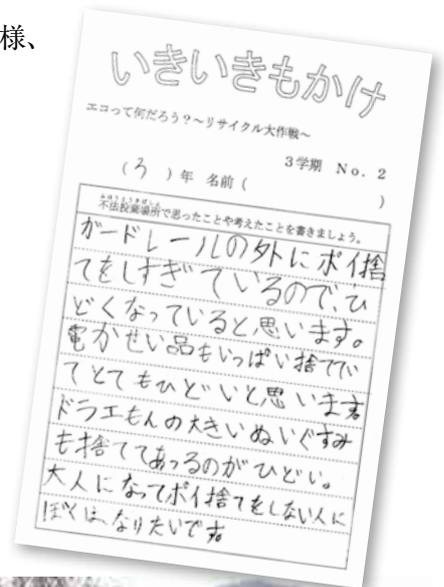
民家からも程近い瀬戸内市邑久町虫明地内での回収作業。道路沿いにはポイ捨てゴミ、崖下には洗濯機やテレビ、タイヤなどの不法投棄。長い間放置された不法投棄が数多く、産業廃棄物だけではなく、家庭から捨てられたと思われるものも多く見られました。

最終的に回収したのは1440kg。前回のおおよそ3倍の量。近くに人が暮らしていても臆することなく不法投棄をするという無神経な人がいることには驚きを隠せません。

裳掛小学校の3、4年生には現場での環境学習として、ポイ捨てゴミの回収のお手伝いと、崖下から回収した不法投棄を見ていただきました。

「大人になっても捨てる側ではなく拾う側になりたいです。」学校に戻って書いた感想文にはそう書かれていました。不法投棄の現実を、経験することによって子供たちの記憶に残り、美しい地域環境の維持につながることを願っております。

最後になりましたが、大変寒い中、参加して下さった会員の皆様、役所の皆様、地元の皆様に心より御礼申し上げます。



第15回 環境クリーン作戦



平成26年1月15日（水）、岡山県産業廃棄物協会岡山中央支部は岡山市南区山田付近に不法投棄された廃棄物を回収する『環境クリーン作戦』を実施しました。当日は天候に恵まれ、大塚支部長の挨拶後、回収作業は開始されました。

新年早々の「環境クリーン作戦」にも関わらず、本年も環境省や県市役所、各センター所長、太田県議、佐藤県議、岡山南警察署、また地元町内からも例年以上のご参加を頂き、総勢85名で不法投棄された廃棄物の回収作業を行いました。

今回の作業場所はグリーンパークから約1kmほど山奥に入った場所で、山道のすぐ下は急斜面になっている場所でした。上から見た印象で、まず大型家電や大型タイヤが不法投棄されていたので、それら大型廃棄物から回収を始めようと斜面に下ると、急に足が沈み込んでいきました。よく確認してみると斜面にも多くの不法投棄がされており、斜面一面が不法投棄された廃棄物で覆われていることに気が付きました。「道から少し斜面に落とすだけで下のほうまで転げ落ちてくれるんだから、不法投棄する者にとってはいい場所なんだろうな」、そんなことを思わず口にする参加者の方もおられました。



実際に回収をしてみると斜面を落とすことが簡単な分、それを回収する苦労は倍以上でした。さらに足場が悪いという悪条件も加わり、大型廃棄物を斜面下から回収するためにロープでくくり、3人がかりで引き上げなければなりませんでした。

そんな例年以上に大変な作業であったにも関わらず、多くの参加者にご参加を頂いたので、回収した

廃棄物は例年を上回る2tダンプが6台、6tヒアブが1台（そのうち大型タイヤは8本、その他タイヤが約90本）にも及んだにも関わらず、作業は例年以上に円滑に進み、無事予定通り終了することが出来ました。

近年、無料回収をうたって無許可で廃棄物回収を行っている業者が起すトラブルが増加の一途を辿っています。今回の不法投棄がすべてそのような業者によるものでないのかも知れませんが、関係各所、さらに地域の方々との連結をさらに密にしてゆき、そのような業者に対して、断固戦う決意を新たにし、解散した。



山陽新聞掲載記事

倉敷
支部

倉敷美観地区七夕飾り



6月26日、今年も美観地区七夕飾りに参加しました。

美観地区は岡本会長の地元でもあり又、当支部も大変お世話になっている地区の一つでもあります。

この度も、お声掛けをいただきお手伝いをさせていただきました。

七夕飾りを行い地元の方、そして県内外だけではなく国外の方達にも間近に来ている夏の訪れ、そして風物を楽しんで

いただけるようにしました。

支部会員により一つずつ手織りで鶴や風船などの折り紙を事前に約400点を準備して、開催日の数日前に室山支部長（山陽美業株式会社）より、地区の代表幹事に手渡ししました。

飾り付けを行う時は、まだまだ梅雨の真ただ中で天気を心配していましたが幸いにして好天に恵まれ計画通りに進みました。

当日、13時から飾り付けをする竹笹18本をダンプで運び、支部会員約10名において飾り付けなどを地区の方達と一緒に交流を図ることが出来ました。

また、若竹の園の保育園児、約30名も参加して「お願い事」を書き込んだ短冊を結び付けてもらい大変喜んでいただけました。

報道関係者も多数、取材に来てくださり楽しくにぎやかなひと時を過ごせました。



鷺羽山クリーン作戦

平成26年6月22日（日曜日）、早朝より倉敷南支部主催にて【鷺羽山クリーン作戦】が行われました。梅雨時期にて心配していましたが案の定、大雨の中の開催となりましたが、子供や女性が参加して頂き雨を吹き飛ばすぐらいアットホームな雰囲気にてスタートする事が出来ました。

集合場所は、瀬戸大橋の真下にて集まって頂き地元ケーブルテレビの撮影の中、高谷支部長の挨拶（笑入）を合図にクリーン作戦が開始されました。

予想以上に参加者が集まった為、2チームに分かれて頂き 鷺羽山スカイラインの水島側から1チームを配置し もう1チームは鷺羽山ハイランドから水島方面へ清掃に入りました。

コンビナート展望エリアを集中して活動しましたが、一番多いゴミは、たばこの吸い殻・空き缶でした。展望エリアから少し奥へ行くと、冷蔵庫や廃タイヤなどの不法投棄を回収し子供達がビックリしていた顔が記憶に甦ります。

雨で視界が悪い中 参加者の皆さんが熱心に作業され、綺麗になったエリアに思いを込めて不法投棄防止の看板を設置しクリーン作戦は終了しました。

最後になりましたが、参加して下さった皆さん、誠に有難うございました。

そしてこの活動が継続して、大きな力になる事を願っています。



津山
支部

第25回 支部総会開催

- 開催日時 平成26年6月18日（水） 15:30～
- 場 所 津山鶴山ホテル

産業廃棄物協会津山支部では、平成26年6月18日（水）、津山鶴山ホテルにおいて、第25回支部総会を開催しました。

同総会には委任状を含む33社からの出席がありました。加納支部長の挨拶の後、美作県民局木村総括参事よりご挨拶をいただき、議事へと移りました。上程された平成25年度活動報告・決算報告、平成26年度活動計画3議案は、全て満場一致で承認されました。例年地元住民からも好評頂き、20回目を迎える「津山・真庭・美作地域環境クリーン作戦」は今年秋頃の実施を予定しています。

総会の後、中部大学客員教授の福田良輔氏による「再生可能エネルギーと地域の復活」についてご講演頂きました。歴史的に見た世界的なエネルギー使用量の激増と今後の厳しい予想を踏まえながら、中山間地域での過疎・限界集落の問題に対し、太陽光、バイオマス、風力などの再生エネルギーを活用した一つの解決案についてご説明いただきました。昨今話題に上ることも多いテーマということもあり会員の関心は高く、講演が終わってからも質問する姿が見受けられました。

その後の懇親会では、河原副支部長からの乾杯の発声の下、大いに盛り上がり、親睦を深めました。



第3回青年部会通常総会

平成26年5月22日（木）岡山プラザホテルにおいて、一般社団法人岡山県産業廃棄物協会青年部会の第3回通常総会が開催されました。

藏本部会長の開会挨拶の後、親会の岡本会長よりご祝辞を頂戴いたしました。続いて議事に入り、第1号議案「平成25年度事業報告の承認について」、第2号議案「平成25年度収支決算報告について」、第3号議案「平成26年度事業計画（案）の承認について」、第4号議案「平成26年度収支予算（案）について」を滞りなく承認いただきました。

議事終了後には、本総会を以て定年退会を迎えられた倉敷支部の木村さん、井笠支部の三好さんへ記念品の授与が行われました。

閉会にあたり、親会の加納副会長より青年部会の担当理事としての激励のお言葉を頂戴いたしました。

青年部会は平成12年に誕生して以来、早いもので15年目を迎え、設立目的に沿って活動し、発展、成長してまいりました。今後も、CSRを身近に感じていただくための実践活動や親子エコツアーの実施、小学生への環境学習、各種勉強会や会員相互の交流などに取り組み、産業廃棄物の適正処理と再生資源の利用促進に関する普及啓発を図り、産業廃棄物に対する意識の向上と協会の発展に寄与していく所存ですので、皆様の御理解と御協力をお願い致します。

終わりに、青年部会では、さらなる発展を目指し、新規会員を募集していますのでよろしくごお願い申し上げます。



第11回通常総会開催

中国ブロック青年部協議会

平成26年7月4日（金）鳥取県米子市の米子ワシントンホテルプラザに於いて全国産業廃棄物連合会青年部協議会中国ブロック青年部協議会第11回通常総会が開催されました。

中国ブロック青年部協議会 岡崎副会長（鳥取県）の開会宣言で総会が始まりました。中国ブロック青年部協議会 藏本会長（岡山県）の挨拶があり、来賓の鳥取県生活環境部次長 森川泰敬様、鳥取県産業廃棄物協会 越生昭徳会長、全国産業廃棄物連合会青年部協議会 加山順一郎 会長より祝辞をいただきました。

藏本会長が議長に選任され、議事に入りました。

第1号議案 平成25年度事業報告書承認の件

第2号議案 平成25年度収支決算書承認の件

第3号議案 平成26年度事業計画（案）承認の件

第4号議案 平成26年度収支予算（案）承認の件

以上4件の議案が審議され、第3号議案の平成26年度事業計画については、第8回全国大会からの継続事業である「CSR2プロジェクト」を継承・進化させることに一丸となって取り組み環境保全・社会貢献等の活動をより精力的に行い企業と社会の持続的な発展を図ろうということで、全ての議案が原案通り承認・可決されました。

最後に、中国ブロック青年部協議会西尾副会長（島根県）が閉会の挨拶をされ、総会は閉会しました。

次に、会場を移して懇親会が開かれました。中国ブロック青年部協議会 三輪監事（鳥取県）の音頭で全出席者一斉に乾杯を行い、岡村さん（鳥取県）の司会で和やかに会が進んで行きました。その席上では歴史クイズが行われ、見事 藏本会長が優勝されました。

第11回通常総会と懇親会が無事終了し、参加者の親睦も深めることができ有意義な1日となりました。



趣味の会 第11回ボウリング大会

タマタイ産業(株) 大塚 翔



3月7日、岡山県産業廃棄物協会にて恒例行事となっていますボウリング大会「趣味の会」が、岡山ジョイポリスで開催されました。

稲村専務理事のご挨拶で大会が始まり、各レーンからストライクやスペアを取ったときの歓声が聞こえてきます。ゲームの合間にレーンを行き来して談笑する人など、ピンの倒れる音で会場は熱気に包まれました。

始まる前までは緊張して上手く投げられるか心配でしたが、いざ、ゲームスタートしたらピンが倒れまくり。1ゲームの途中からヘッドピンに当たればストライクとなり、終わってみれば2ゲームの合計が350オーバーとなりました。まぐれとは言え偶然とは恐ろしい限りです。このたびは優

勝で豪華賞品を頂き、大変ありがとうございました。

懇親会の焼肉も大変美味しく、たくさん食べ、お酒を飲みながらボウリングの話等で盛り上がり、楽しく和気あいあいと過ごすことができました。

最後に、この大会を運営いただきました協会関係者の皆様、大会に参加された皆様に厚くお礼申し上げます。会社の枠を超えて親睦を深めることが出来、とても楽しい時間を過ごすことができました。是非次年度も参加させていただきたいです。



てき丸君News 第4号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

<http://www.zensanpairen.or.jp>

「第4回定時総会」及び「臨時理事会」6月13日に開催



当連合会の第4回定時総会及び臨時理事会を、6月13日に東京・港区元赤坂の明治記念館で開催しました。

今回の定時総会は、一般社団法人愛知県産業廃棄物協会の安藤専務理事の総合司会により進行され、石井連合会会長の挨拶、環境省の塚本産業廃棄物課長からのご祝辞（梶原廃棄物・リサイクル対策部長祝辞代読）を頂いたあと、一般社団法人えひめ産業廃棄物協会の本田会長による開会宣言でスタートしました。

また、総会当日の午前中に自由民主党の「産業・資源循環議員連盟」（仮称）の設立準備会が開催されたことから、同議連の前身である同党産業廃棄物対策議員懇話会会長を長らく務められ、

今回の議連設立でも代表発起人として尽力されている丹羽衆議院議員が政務ご多忙にもかかわらず総会に駆けつけてくださり、ご挨拶を頂戴しました（議連設立準備会については次ページをご覧ください）。

総会開会后、まず第1部の議案審議では、一般社団法人新潟県産業廃棄物協会の小田島会長を議長に、①「平成25年度事業報告並びに平成25年度収支決算承認の件」②「任期満了に伴う役員改選の件」の2つの議案を森谷連合会専務理事が説明し、両議案とも満場一致で承認されました。

総会第2部の表彰式では、連合会会長表彰の各賞受賞者を中心に約400名が参加し、総勢315名の方々が表彰されました。全受賞者を代表して、一般社団法人高知県産業廃棄物協会の石元速雄元会長が謝辞を述べました。続いて、今回の定時総会をもって連合会理事を退任される9名の方々に感謝状が贈呈されました。

議案審議及び表彰式を終え、一般社団法人岐阜県産業環境保全協会の粥川理事長が閉会を宣言し、第4回定時総会は無事閉幕しました。

●総会閉会后に臨時理事会開き石井会長の再任等を決定

今回の定時総会で選任された理事の中から、会長、副会長及び専務理事を選定するための臨時理事会を総会終了後の午後4時20分に明治記念館内で開催しました。審議の結果、3ページに掲載した役員体制となりました。

●懇親会に多数のご来賓

定時総会閉会后に開催した懇親会には、井上環境副大臣をはじめ関係省庁及び関係団体のご来賓のほか、政界からも多数お越しいただきました。懇親会の冒頭、石井連合会会長が挨拶し、ご臨席頂いたご来賓に謝意を表するとともに、総会閉会后の臨時理事会にて選定された副会長及び専務理事の顔ぶれを紹介し、新体制における抱負を述べました。

ご来賓のうち、国会議員の方々は次のとおりです（議員ご本人のみ。掲載50音順、敬称略）。

石川昭政議員（衆）、井上信治議員（衆）、井上貴博議員（衆）、片山さつき議員（参）、北村誠吾議員（衆）、斉藤鉄夫議員（衆）、瀬戸隆一議員（衆）、高市早苗議員（衆）、田中和徳議員（衆）、中川雅治議員（参）、野田毅議員（衆）、平口洋議員（衆）、盛山正仁議員（衆）、山口那津男議員（参）、山本有二議員（衆）

（総務部・古川）

仮称「産業・資源循環議員連盟」設立準備会開かれる

6月13日（金）午前11時30分より東京・永田町の憲政記念館において、仮称「産業・資源循環議員連盟」設立準備会が開催されました。

前身である自由民主党産業廃棄物対策懇話会会長の丹羽雄哉衆議院議員が代表発起人となられ、国会議員38名の参加を得て、あかま二郎衆議院議員が司会進行を務められました。全国産業廃棄物連合会から石井会長、全国産業廃棄物連合会政治連盟から國中理事長が出席し、総勢34名の参加がありました。

産業廃棄物処理業界は、多くの課題があり、産業廃棄物処理業者を取り巻く環境はチャレンジングなものがあります。当議員連盟は産業廃棄物処理における制度的、財政的な振興施策等を幅広く検討し、その実現を図ることを目指すものです。

設立準備会においては、参議院議員片山さつき自由民主党環境部会長が環境関係業界育成の観点から産業廃棄物業界の現状と課題について触れられ、今後の取り組み方についての思いを述べられました。（以下の参考資料をご覧ください）

また、丹羽雄哉衆議院議員が産業廃棄物処理業の循環型社会における重要性とその社会的役割を述べ、議員連盟の設立についてご挨拶されました。続いて、前身の懇話会幹事長であった鈴木俊一衆議院議員が地元岩手県の大震災の経験から産業廃棄物処理業者が活躍することの重要性についてご指摘を頂きました。

その後、石井会長、國中理事長が業界を代表して、産業廃棄物処理業界の多くの課題を抱えている現状において、今般の議員連盟設立が産業廃棄物処理事業のさらなる振興にご理解とご支援を頂けるものと大いに期待をしている旨の挨拶をいたしました。

最後に自由民主党組織本部長の竹下巨衆議院議員が閉会の挨拶をされ、今後は早い時期に、設立総会を開催することで閉会しました。

（全国産業廃棄物連合会政治連盟事務局長・土井）



●参考資料「環境関係業界育成のための提言」のポイント（平成26年6月12日自由民主党環境部会）

【産業廃棄物処理業界の課題】

- ①業界の優良化 ②リサイクル ③建設廃棄物 ④低炭素社会の実現 ⑤海外への事業展開 ⑥巨大災害等に起因する膨大な廃棄物処理 ⑦安全衛生 ⑧税制

【今後の取り組み】

上記のような課題に業界が適切に対応し、不適正処理を行うような事業者は厳しく規制されるとともに、産業廃棄物処理業界が今後のわが国のグリーン成長を担う循環型・低炭素産業に成長していくよう振興を図るためにも、産業廃棄物業界と密接に意見交換を行い、業界支援をしていくことが必要である。

青年部協議会活動の紹介

平成26年度青年部協議会第3回幹事会を6月17日（火）に開催させて頂きました。幹事会では、7月25日（金）開催の青年部協議会第15回通常総会について審議され、可決承認されました。

また、11月21日（金）開催の第9回全国大会について協議いたしました。幹事会終了後、森谷専務理事に「産業廃棄物業界の現状と連合会」「水銀に関する水俣条約の概要」について説明を頂きました。

青年部協議会各地域ブロックの今後の予定です。

- | | | | |
|-------------|----------|------------|------|
| ・関東ブロック | 6月27日（金） | 第10回通常総会 | 水戸市 |
| ・北海道・東北ブロック | 7月4日（金） | 第13回通常総会 | 秋田市 |
| ・中国ブロック | 7月4日（金） | 第11回通常総会 | 米子市 |
| ・信越・北陸ブロック | 7月5日（土） | 第6回通常総会 | 富山市 |
| ・九州ブロック | 7月5日（土） | 第13回通常総会 | 宮崎市 |
| ・近畿ブロック | 7月10日（木） | 平成26年度通常総会 | 和歌山市 |

(公社)全国産業廃棄物連合会中国地域協議会の動き

■平成26年度第1回中国地域協議会総会が開催される

平成26年7月3日、鳥根県松江市において平成26年度第1回（公社）全国産業廃棄物連合会中国地域協議会正副会長・事務局長等会議（総会）が、全産連の森谷専務理事、広島県政治連盟の川本理事長、岡山県の藏本忠男氏を来賓として迎え、開催された。

【キーワード】 災害時廃棄物対策中国ブロック協議会、議員連盟

議 事

中国地域協議会の野津会長（鳥根県会長）が議長となり、第1号議案「平成25年度事業報告承認の件」、第2号議案「平成25年度収支決算報告承認の件」、第3号議案「平成26年度事業計画（案）承認の件」及び第4号議案「平成26年度収支予算（案）承認の件」について審議し、満場一致で承認された。

各県提出議題

- ・産業廃棄物処理施設の設置に係る事前指導要綱等について、各県の現状を報告し、全産連の森谷専務理事から、施設設置許可手続きや廃棄物の定義など各県の取扱にばらつきがある。廃棄物処理法に関わる課題は多く、全産連としても全国の情報を集め、次期法改正の運用の際に要望していきたいと説明があった。
- ・環境省中国四国地域環境事務所が設置する災害時廃棄物対策中国ブロック協議会への参加について、各県の現在の対応現状を報告し、今後も情報を共有しながら対応していくことを確認した。

情報交換

全産連の森谷専務、広島県政治連盟の川本理事長から、全産連で取り組んでいる業法の対応状況について情報提供があった。

■中国地域協議会の各県の正副会長

- （一社）鳥根県産業廃棄物協会 越生会長、牧浦・松井・竹ノ内副会長
- （一社）岡山県産業廃棄物協会 岡本会長、大塚・加納副会長
- （一社）広島県資源循環協会 小川会長、木吉・長瀬・楨岡・三谷副会長
- （一社）山口県産業廃棄物協会 榎本会長、井田・平田副会長
- （一社）鳥根県産業廃棄物協会 野津会長、大久保・和田・尾崎副会長

■中国地域協議会選出の全産連役員、委員等（平成26・27年度）

- 理事 山口県 榎本会長
- 総務倫理委員会 山口県 榎本会長
- 法制度対策委員会 岡山県 大塚副会長
- マニフェスト推進委員会 広島県 山本専務理事
- 教育研修委員会 岡山県 岩本専務理事兼事務局長
- 安全衛生委員会 広島県 三谷副会長
- 収集運搬部会運営委員会 山口県 石井理事
- 中間処理部会運営委員会 山口県 竹田理事
- 最終処分部会運営委員会 広島県 檜垣様
- 医療廃棄物部会運営委員会 山口県 折崎様
- 建設廃棄物部会運営委員会 岡山県 藏本青年部会長



事務局からのお知らせ

■平成26年度の主な行事予定

平成26年6月～平成27年1月 地域環境クリーン作戦（支部活動）

平成26年7月29日 優良業者育成講習会

平成26年8月23日 親子エコツアー（青年部会活動）

平成26年9月 会報「くりにん岡山50号」の発行

平成26年10月23日～25日 県外視察研修会（北海道）

平成26年10月 法令関係本の作成、配布

平成26年11月19日 日帰り視察研修会（香川県直島）

平成27年1月～2月 実務担当者講習会（2回）契約マニフェスト関係等

平成27年1月 会報「くりにん岡山51号」の発行

平成27年3月 会員名簿の作成

年間 マニフェストの頒布、参考図書の貸出、産廃情報の発行、インターネットホームページの更新、相談業務等

■各支部における地域環境クリーン作戦の実施予定

支部	実施予定場所	実施予定時期
岡山東	瀬戸内市内	平成27年1月
岡山西	岡山市南区児島半島周辺	平成26年11月
岡山中央	岡山市北区内	平成27年1月
東備	和気郡和気町内	平成26年11月
倉敷	倉敷市菰池地内	平成26年11月
倉敷南	倉敷市鷲羽山スカイライン周辺	平成26年6月22日
井笠	井原市内	平成26年10月
備北	高梁市内	平成26年10月
	新見市内	平成26年11月
津山	津山地域又は真庭地域	平成26年11月

■産業廃棄物処理業許可講習会（産業廃棄物処理振興センター主催）

区分	期日	定員	
産業廃棄物	収集運搬業新許可講習会	平成26年8月7日（2日間） 平成26年11月5日（2日間）	150名 150名
	処分業新規許可講習会 （収集運搬業同時講習可）	平成26年9月9日（4日間）	150名
	産業廃棄物 ・ 特別管理産業廃棄物	収集運搬業更新許可講習会	平成26年7月9日（1日間） 平成27年2月5日（1日間）
処分業更新許可講習会 （収集運搬業同時講習可）		平成26年10月9日（2日間）	100名
特別管理産業廃棄物管理責任者			平成26年7月10日（1日間） 平成26年11月7日（1日間） 平成27年2月6日（1日間）

※事務局では、会員皆様から研修テーマや内容に関する意見ご要望をお待ちしています。

鷲羽山から眺める水島コンビナート風景（コンビナートと地域の共生）



中国地方瀬戸内海に面した岡山県の南西部にある倉敷市。

倉敷市の瀬戸内海に面する児島・水島・玉島地区の3つの地区にまたがる形で水島コンビナートは形成されております。

その広さは、2,514ha。倉敷市の総面積の7%を占めております。

倉敷市の人口は約48万人が暮らしております。そして水島地区には約9万人が暮らしております。

この風景は、水島地区のコンビナートと地域住民の方達が暮らしている風景写真であります。

新しい環境文化を創生し、水島コンビナートも今後益々発展し地元住民の方達も安心して暮らせるモデルケースになることを切に願っております。

編集後記

終戦から69年がたった今、日本は集団的自衛権行使容認の閣議決定で懸念が広がる中、北方領土問題、竹島・尖閣諸島問題等大変な時代に直面しています。

また、我が協会も設立21年目を迎え、会員増加に伴い新しい区割の改変も行わなければならない時期だと思ふ。

若い会員皆様の意見も聞かせてもらいたいものです。

(M. I)

会報・クリーン岡山 第50号

平成26年9月30日 発行

発行 一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6

TEL 086-254-9383 FAX 086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

人と地球にやさしい環境づくり
Clean & Ecology

一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業
環境マネジメントシステム ISO14001認証

優良産廃処理業者認定

山陽美業株式会社

本社：倉敷市老松町2-13-30 TEL086-434-3500
倉敷事業所：倉敷市浅原276番地 TEL086-422-9113
<http://www.sanyobigyo.jp/>



地域社会に貢献する

内海産業株式会社
NAIKAI INDUSTRY CO.,LTD.

代表取締役 松本 俊成

産業廃棄物輸送
生コンクリート輸送
一般貨物輸送



本社：〒716-0207 高梁市川上町仁賀627

TEL: (0866) 48-3588 FAX: (0866) 48-3261

総合建設業 / 土木工事 舗装工事 解体工事
産業廃棄物処理業 / 収集運搬 中間処理

株式会社 岡 清 組

〒700-0866 岡山市北区岡南町2丁目5番7号

TEL 086-233-7230
FAX 086-226-0113



HINASE

high native service



ISO9001-2008
No.1394-1509013
No.1741-1801803

資本金額自営業
平成20年現在で計

環境にやさしい
経営をしています

☆海陸運輸倉庫業(保冷、危険物、薬品) ☆港湾荷役通関業

☆冷蔵輸送 ☆保税蔵置 ☆通運業 ☆エコ・リサイクル輸送

☆液体輸送 ☆生命・損害保険代理業 ☆乗合路線バス

☆貸切バス事業(福祉バス)

☆乗用旅客(福祉タクシー、紺色ハイヤー)

☆国内・海外旅行業(JTB特定パートナー店)



日生運輸株式会社

備前市伊里中588-1
TEL.0869-67-2555

備前バス

備前市伊里中578-1
TEL.0869-67-1555

Group Company

備前トラベルハイヤー 日生トーム 日生運輸(有) 備前観光サービス
備前トラベル保険サービス ヒナセカーサービス 明星エンタープライズ

人と地球にやさしくすること それは環境を大切にすること

廃棄物の再資源化により資源循環型社会の実現に貢献します



産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物処分業

水島エコワークス株式会社

〒712-8074 倉敷市水島川崎通1丁目14-5

TEL 086(447)3255 FAX 086(447)3257

URL <http://www.eco.works.co.jp>

クリーンビジネスの新たな可能性に挑む！

さまざまなリサイクルを提案し
 高度な技術と責任ある処理で
 ゼロ・エミッション社会を目指します。



内田工業株式会社
 代表取締役 **内田航**

〒712-8052 倉敷市松江3-2-46

TEL: 086-456-5888

FAX: 086-456-4552

<http://www.uchida-ind.co.jp/>



ISO14001認証取得

解体・伐採木の処分・真砂土・おろし真砂土の販売等 各種取り扱っております

(株)三好組
 土木・建築工事



- ❖ 中間処理業
 (がれき・鋳さい・ガラス陶磁器)
- ❖ 産業廃棄物最終処分業
 (がれき)
- ❖ 真砂土・再生砕石販売
- ❖ 不動産業

三好組グループ

株式会社 三好組

本社 / 小田郡矢掛町中 170
 TEL / 0866-82-0522
 FAX / 0866-82-2646

株式会社 アースクリエイト

本社 / 小田郡矢掛町中 170
 TEL / 0866-82-3031
 FAX / 0866-82-3400



(株)アースクリエイト
 解体工事・木くずリサイクル



- ❖ 解体業
- ❖ 産業廃棄物収集運搬業
- ❖ 中間処理業
 (木くず・紙くず・廃プラ・繊維くず)
- ❖ ダンプ・クレーン事業
- ❖ 山砂・おろし真砂土販売

可成り低価格でトランプの店

創夢
 — DREAM —

リサイクルショップ
VECTOR
 ベクトル

倉敷西ビル店 TEL/086-427-3312
 倉敷市阿知 1-7-2 くらしきシティプラザ西ビル2F
 加須山店 TEL/086-429-2984
 倉敷市加須山 190-1 バイパス 2 号線沿い
 福山店 TEL/084-922-6562
 福山市伏見町 4-25 オンリービル 1F

豊沖店 TEL/086-441-7765
 倉敷市世沖 1240-3 ザ・ビッグ倉敷店南

炭火七輪で食べる朝鮮ホルモン!

情熱ホルモン
 JOHEITSU HORBURON

フィリピン産天然素材
とり畑 小太郎

福山駅前酒場 TEL/084-926-2450
 福山市伏見町 4-25 オンリービル 1F



倉敷店 TEL/086-434-0512
 倉敷市世沖 1240-3 ザ・ビッグ倉敷店南



Clean & Recycle

私たちは地域の未来に、真剣です。

ISO 14001

認証取得



JOA-EM2324

株式会社

西日本アチューマツトクリーン

代表取締役 **藏本 忠男**

事業範囲

●産業廃棄物処理業

取壊・廃棄

中・軽式機(解体・掘削・砕砕・型形機材製造)

●一般貨物自動車運送事業

●リサイクル事業

建設汚泥の再資源化

流動化処理土・再生処理土・再生砂・再生砕石製造

●レンタル・リース事業

掘削機(トコンマルふるい機)・排水機

●廃プラスチック類・木くず・

紙くず・繊維くずの再資源化

固形燃料(RPF)製造

●建設業

深層工事・土木工事・とび土木工事

本社 〒702-8245 河山市南区藤原50-1
TEL(086)272-8042 FAX(086)271-1050
URL <http://www.o-nac.co.jp>
E-mail nac@o-nac.co.jp

倉敷営業所 〒712-8044 倉敷市東区5-17-50
TEL. FAX(086)456-4433
筑島事業場 〒701-0206 河山市南区筑島守り松原3678番
TEL. FAX(086)292-6647

赤磐工場 〒701-2228 河山市赤磐市山口2731-4
TEL(086)957-4919
FAX(086)957-4922



解体工事

金属・非鉄金属リサイクル

産業廃棄物適正処理を通じて、

皆様の次の一步を

お手伝いさせていただきます。

建築物解体全般
製鋼原料・非鉄金属原料
産業廃棄物処理
東京製鉄㈱指定産納店

安田産業株式会社

代表取締役 安田 猛男

〒702-8030 河山市南区三浜町1-1-18

TEL086-263-3061 FAX086-263-3020



タカタニ建設

www.takatani.jp



良い環境を次世代に残したい

株式会社高谷建設は、循環型社会に取り組みます。



株式会社 高谷建設

〒711-0936 岡山県倉敷市児島柳田町2326-4
TEL (086) 473-3624 (代) FAX (086) 472-6273

地球資源を大切に一フジミツからの提案

リサイクルプラント

緑と環境を
大切にする

フ・ジ・ミ・ツ・の
**産廃処理
システム**

一般土木／井原市上下水道指定工事店
家屋解体工事／岡山県工コ製品認定店
産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物中間処理業

有限会社 藤充建設工業

本 社：井原市井原町 3557-29

TEL.(0866)62-0712 FAX.(0866)62-0302

処分場：井原市芳井町宇戸川 2030

TEL.(0866)72-1530 FAX.(0866)62-5545

リサイクル製品ストック販売場：高梁市成羽町佐々木

DOWA

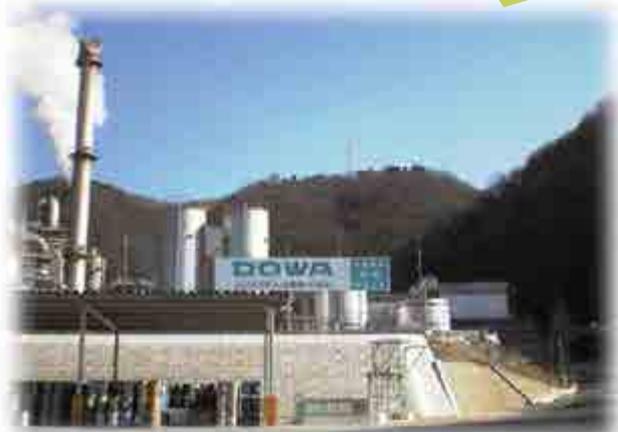
**DOWAグループは、あらゆる産業廃棄物の処理を通じて、
地域社会と持続可能な社会に貢献します**



エコシステムジャパン



岡山砒油



エコシステム山陽

エコシステムジャパン株式会社

【営業窓口・収集運搬】

〒708-1523

岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1048-2

TEL:0868-62-1341 FAX:0868-62-1330

岡山砒油株式会社

【産業廃棄物中間処理・再生油販売・セメント資源化】

〒702-8045

岡山県岡山市南区海岸通2丁目6-13

TEL:086-264-6866 FAX:086-264-6867

エコシステム山陽株式会社【産業廃棄物・特別管理産業廃棄物・微量PCB汚染廃電気機器等中間処理】

〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1125 TEL:0868-62-1346 FAX:0868-62-1345



設立 50 周年



倉敷企業合資会社

- 本社
倉敷市中央 1-6-24
TEL : 086-424-6429
- 大平山リサイクルセンター
倉敷市連島町西之浦 4566-1
TEL : 086-448-8224
- 弥高山事業所
倉敷市玉島服部 3318-2
TEL : 086-525-8515
- 黒石事業所 (破碎・焼却)
倉敷市黒石 1052
TEL : 086-426-1379

<http://www.kurashiki-kigyo.co.jp>

優良

優良産廃処理業者認定 取得

ISO 14001
認証取得



JQA-EM5372



H26年 新設された破碎機



破碎圧縮固化施設